

学校図書館だより



2016年7月 14日
横浜市立森の台小学校
校長 田中 公明
図書主任 清水あゆみ
学校司書 近江弥穂子

No. 4

いよいよ夏休みですね。夏休みはじっくり本を読む時間のとれるときなので、課題図書や図書館のおすすめの本など、いろいろな本に出会ってほしいと思います。そして読書感想文コンクールにも取り組んでほしいです。読書感想文という身構えてしまう人もいますが、まずはいろいろな本を読んでみましょう。心が動いたり、共感したり、自分と比べたりすることができる本に出会えたらチャンスです。ぜひ、その本の感想文を書いてみましょう。

としょかん 図書館からのお知らせ

●夏休みの特別貸出

ひとり2冊まで借りられます。借りられるのは9月2日までです。

本を返す日を守りましょう。

●「夏休みに読んでみよう2016」低・中・高学年、配布しています。

普段なかなか手に取らない本にもぜひチャレンジしてみてください

せんせい 先生のおすすめ本

船木先生 (4-1)

「チームふたり」

吉野万理子著

左東先生 (5-5)

「こんとあき」

林 明子作

菅原先生 (4-4)

「星新一ショートショート」

星新一著

増子先生 (3-1)

「小さなスプーンおばさん」

アルフ・ピュロイセン作

図書館にあります

シリーズたくさん図書館
にあります。

図書館にあります。

大地は東小6年卓球部キャプテン。小学校最後の試合でまさかの5年生と組むことになってがっかり。納得できない大地だったが、家ではそれどころではない事件が起きてしまい…

女の子「あき」がきつねのぬいぐるみの「こん」とおばあちゃんの家に行くお話です。試練に負けない「あき」の成長と「こん」の「だいじょうぶ だいじょうぶ」という言葉がおすすめです。

わりといい年になってから読みました。子どもの時は子どもなりに、大人になってからは大人なりにおもしろく、そしていろいろ考えさせられる作品です。

ある朝、突然ティースプーンくらいに小さくなってしまのおばさんが、「それならそれでうまくいくようにしよう。」と明るく前向きに過ごしていくお話です。とても楽しく、出てくる料理もおいしそうです。クスッと笑いたくなる時に読んでみてください。

トピックス ～豊臣秀吉（とよとみ ひでよし）～

豊臣秀吉は織田信長、徳川家康と並ぶ三英傑の一人です。尾張国（現在の愛知県）中村の足輕（または農民とも）の家に生まれました。「太閤記」によれば、誕生日は1月1日、幼名は「日吉丸」となっていますが、おそらくどちらも後世の創作と思われる。はじめは木下藤吉郎と名乗り、今川氏の陪々臣として松下氏に仕えていたようです。その後、織田信長に仕官するチャンスに恵まれると、織田家臣団の中で次第に頭角を現し始めます。例えば、美濃攻めの「墨俣一夜城」の逸話（創作だと思われませんが）や、朝倉・浅井攻めの手柄（金ヶ崎の退き口、小谷城の戦いの京極丸攻め など）が有名です。1582年、信長が本能寺の変で明智光秀に討たれると、当時、交戦中であつた毛利氏といち早く講和を結び、「中国大返し」により京に戻り、「山崎の戦い」で光秀を破る大手柄をたてます。その後、旧織田家家臣の勢力争いに勝ち残り（柴田勝家との賤ヶ岳の戦い など）、信長の後継者として、天下に号令します。政庁として巨大な大坂城を築き、朝廷からは関白・太政大臣に任じられ、また豊臣の姓を賜ります（豊臣は名字ではなく「姓」なので、姓と名前の間に「の」を入れ、「とよとみ の ひでよし」と読むのが正しい）。小田原の北条氏を滅ぼし天下統一を果たすと、さらに領土を海外に求め、「唐入り（中国征服計画、当時の中国は明）」を計画し、文禄・慶長の役を起しますが、朝鮮・明の抵抗により苦戦を強いられる中、慶長の役の最中の1598年に病没します。秀吉が築いた豊臣政権は、秀吉の死後、台頭した徳川家康により滅ぼされます。しかし、秀吉政権は、貨幣統一・刀狩令・太閤検地・石高制など、後の江戸幕藩体制の基礎となる政策を行ったという点で、重要な功績を残したと言えます。

第一図書館に伝記が、第二図書館には歴史の本で、豊臣秀吉の本があります。手にとってみてください。

今月のおすすめの本

「今森光彦
昆虫記」
今森 光彦 著

「小さな怪物君」（チョウやガの幼虫の顔）、「瞬間必殺術」（ヒキガエルに食べられるダンゴムシ）、「究極のものまね」（鳥のふんに似た虫）などなど、今森さんが12年間撮影したフィールドノートです。

「真田十勇士」全3巻
小前 亮 著

戦国の世が終わり、平和な世の中がやってきたと思つたのもつかの間、豊臣と徳川が天下の行く末をかけた最後の対決につき進み始めた。このような時代に命がけて活躍した、真田幸村と十人の家臣の姿を描いた物語です。

編集後記

いよいよ夏休みです。夏休みにいろいろな計画があると思いますが、是非普段手に取らない本にもチャレンジしてもらえたらいいと思います。ある日突然字ばかりの本が読めるようになるわけではありません。まずは絵本、そして絵本から物語に移行していき、徐々に文字数が増え、挿絵が減っていくなかで、想像力も自然と鍛えられていきます。また、自由研究で何かを調べるときは、まず、参考図書である、百科事典や、図鑑などで調べてみてください。その際、最低でも2冊以上は本を使ったり、やむなくインターネットを使う場合は、まず公共機関のものから先に調べるようにしてください。そして、どちらも必ず出典を書くようにしてください。

先日、4年生の授業にいらしたニュースパークの方（元新聞記者）にお話を伺いました。取材したなかの1割ほどしか実際に記事にはされないそうです。取材されて調べられたことのなかから大事なこと1割、というのが印象に残りました。皆さんも調べたことを全部書くのではなく、調べた中でも特に大事なことを書けると良いのではないかと思います。

学校司書 近江

こ かつみ かんけんがく 子ども 霞 が関見学デー

なつやす かつみ せき しょうちょう たす
夏休みに、霞が関のいろんな省庁を訪ねてみませんか？
しょくばけんがく かくしょうちょう こ たの ようい
職場見学のほか、各省庁、子どもが楽しめるいろんなプログラムを用意してく
れています。しょうさい ぶんぶかがくしょう らん
詳細は文部科学省のホームページをご覧ください。
のうりんすいさんしょう しょくどう すず
農林水産省の食堂もお勧めです！

7月27日（水） 28日（木）

かいさい
開催です